

村城裕明さん『トントウフェスティバル』（2月13配信）

※撮影 2022年12月

こんにちは！村城です。

今日のお話は、トントウフェスティバルについてです。

11月12日13日に飯能市で開催されたお祭りです。トントウフェスティバルのトントウですが、フィンランドの小人を意味しています。この小人は、好きな相手に自分のできることを行い喜んでもらうことが大好きです。つまり、トントウフェスティバルは、小人のように自分にできることを行い、多くの人に喜んでもらうことをテーマにしています。昨年、トントウフェスティバル開催に向けクラウドファンディングを行い、目標額を達成していました。しかしコロナの影響でオンライン開催となりました。今年は、飯能市のメッツァビレッジ、ムーミンバレーパークのあるところで開催できました。2年ぶりに開催できたお祭りです。私は、一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会青年部として、一般社団法人異言語 Lab（ラボ）の後援として参加しました。

企画内容は、手話を使った謎解きゲームをメッツァビレッジ行いました。青年部として、謎解きゲームの世界の中で役割がありました。参加者にまずは手話を教えます。簡単な手話で好きな色、青、赤、白、黒などを教えます。覚えた手話を謎解きに使用します。小さい子どももたくさん参加してくれました。手話を教えますが、謎が解けない時は、指文字表を持っているので見ながら「教えて」と伝えてくれます。その姿はとても可愛いです。手話の読み取りは良くてできます。子どもは覚えるのが早いなぁと感じました。私は2日間のうち2日目のみ参加しました。2日目だけで70人、初日も併せれば100人以上が参加してくれました。手話に興味がある人が多くおり、特に若い人が多くいました。びっくりしました。手話を多くの人に教え、覚えてもらう機会があるのは、とても良いことだと思いました。青年部としても同様の企画を今後行いたいと思いました。

ぜひみなさん参加して手話をたくさん覚えて、一緒に手話の楽しさを広めてもらえればうれしいです。